法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-28

広東語と”普通話”の相違点 : 動詞と形容詞をめぐって

Ling, Zhi Wei / 凌, 志偉

(出版者 / Publisher)
法政大学教養部
(雑誌名 / Journal or Publication Title)
法政大学教養部紀要. 外国語学・外国文学編 / 法政大学教養部紀要. 外国語学・外国文学編
(巻 / Volume)
65
(開始ページ / Start Page)
1
(終了ページ / End Page)
13
(発行年 / Year)
1988-02
(URL)
https://doi.org/10.15002/00005339

Hosei University Repository

広東語と〝普通話〟の相違点
——動詞と形容詞をめぐって——

凌　志偉

中国には昔から〝天不怕，地不怕，最怕広東人説官話。〟（天も，地も恐れるに足りないが，一番恐ろしいのは広東の人が官話を話すことだ。）という言いまわしがある。〝官話〟とは標準語である北京方言のことである。中国は国土が広く，少数民族の言葉は別として，漢語だけでも大きく分けて，七つの方言がある。書き言葉こそ秦始皇帝の時代から統一されているものの，話し言葉に関しては外国語同士と言えるほど隔りが大きく，互いに通じない。中でも広東省は中国の最南端に位置し，北部に南嶺山脈等があり，交通の便があまり良くなく，北方の人たちとの交流も少なかった。その為に，広東省の人たちの話す〝普通話〟（標準語）はなまりがひどく，ほかの省の人たちにとって，なかなか聞き取れなかったらしい。今でも日本人があやしげな発音で中国語を話すと，中国人に良く広東人の話す〝普通話〟のようだと言われ，筆者も何度かそれを耳にしたことがある。それほど，広東の人の話す〝普通話〟は今日でもほかの省の人々には全く下手くそだと思われている。

中国は中華民国の時代より〝普通話〟（当時は〝国語〟と言った。）を推進したが，本格的に普及し出したのは中華人民共和国が成立してからのことである。今日では四十代以下の人だと，広東の人々も含めて，曲がりなりに〝普通話〟を話す。それでもまだ〝普通話〟を解せない人が大勢いるので，テレビも，ラジオもわざわざ広東語の番組を流し，北京等で作ったテレビドラマまで広東語に吹替え，放送している。これはほかの方言区では見られない現象である。

広東語（広州方言）は〝白話〟，〝粤語〟とも言い，古くは〝広府話〟とも称せられた。発音と語いにおいて〝普通話〟と大きな差があるので，本稿では動詞と形容詞を中心に広東語の特異な面を解明してみたい。

動詞

日本語やヨーロッパ系の言語と違って，中国語の動詞自体は変化しない。動

Hosei University Repository

詞のあとまたはその間に助詞をつけたり重ね方にしたりして，それぞれ違った意味をもたらす。広東語も同じだが，ただ使用される動態助詞は〝普通話〟のそれよりも多く，意味の上で〝普通話〟に相当する言葉があっても，用法がかなり違うものが多い。

1. 咗

動詞のあとにつけて，完了，過去を示す。〝普通話〟の〝了〟に相当する。

我借咗銀行一萬文。

（私は銀行から一万元を借りた。）

我識咗佢有兩年。

（彼と知り合って，二年になる。）

一字の動詞の重ね方の間に，〝咗〟を入れると，その動作がきわめて短かったことを示す。〝普通話〟の〝了〟にはこういう用法はない。

佢企咗企就走咗嘞。

（彼はちょっといただけで，すぐに返った。）

陳医生聽咗聽就知道病人邊處唔妥。

（陳先生はちょっと聞いただけで，患者の具合の悪い所がすぐ分かった。）

この場合の〝咗〟は〝兩〟に置き変えても良い。（企兩企，聽兩聽。）二字からなる動詞はこのような重ね方はできない。〝睇見咗睇見〟とは言わない。

2. 起嚟

動詞のあとにつけて，ある動作が始まったことを示す。〝普通話〟の〝起來〟に相当する。

呢種蜆食起嚟都幾好食。

（食べて見たら，こういう貝もなかなかおいしい。）

我稔起嚟就火滾。

（考え出すと，腹が立つ。——考えただけで腹が立つ。）

日本話學起嚟都唔容易。

（勉強して見ると，日本語もなかなか難しい。）

3. 緊

動詞のあとにつけて，ある動作が進行中であることを示す。〝普通話〟の〝在〟，〝着〟に相当する。

佢而家冲緊凉。

（彼は今おふろに入っている。）

Hosei University Repository

琴晩9点，我重同佢食緊飯。

（昨晩の9時には，私はまだ彼と食事をしていた。）

もとの例のように，過去のことでも使える。"冲凉" のような二字の動詞の場合，"緊" は間に入れる。

4. 落去

動詞のあとにつけて，引続きある動作を行うことを示す。"普通話"の"下去"に相当する。

咁様做落去都唔係辦法。

（このまま続けても致し方あるまい。）

一路行落去，右手邊就睇見一座十層嘅大厦。

（このまま歩き続けると，右側に十階立てのビルが見える。）

5. 過

動詞のあとにつけて，経験を示す。"普通話" の "过" と同じである。

我食過荔枝。

（私は荔枝を食べたことがある。）

我都試過，但係唔得。

（私も試してみたが，ダメだった。）

6. 翻

動詞のあとにつけて，元の状態に回復する，またはお返しをするという意味になる。

你稔翻下喺邊處唔見嘅。

（どこでなくしてのか，思い出してごらん。）

冇做好耐，而家做翻一陣又熟手嘞。

（長いことやってなかったが，今また少しやってみると，すぐ慣れてきた。）

佢而家好唔掂，你要帮翻佢。

（彼は今とても困っているので，今度はあなたが彼を援助しなければならない。）

"翻" は "普通話" にはない言い方だが，場合によっては，反復の意味もなく，ただ語呂の関係でつけることもある。

今晩應該飲翻杯。

（今晩は一杯飲まなくちゃ。）

Hosei University Repository

我都想買翻啲蝦米返去。

（私も干しえびをいくらか買って返りたい。）

上の例文の〝翻〟は全く意味がない。語気を強めているにすぎず，省略しても文が成り立つ。

7. 住

動詞のあとにつけて，動作が進行中であるが，あとで変わるかもしれないことを示す。文末に良く〝先〟がつく。〝普通話〟にはない言い方である。

你食住先啦，我再炒多個菜。

（取りあえず食べていて下さい。もう一品つくるから。）

呢份工你暫時打住，將來再搵份好嘅俾你。

（しばらくこの仕事を続けなさい。そのうちもっとマシな働き口をみつけてあげます。）

〝住〟は〝緊〟と同じ形で使われることがあり，進行形を示す。

佢孭住個蘇蝦仔。

（彼女は赤ん坊をおんぶしている。）

二つの動詞の間に，〝住〟をつけると，最初の動詞があとの動詞を修飾する形になる。

你跟住佢去啦。

（彼についで行って下さい。）

李小姐望住我笑。

（李さんは私を見ながら笑った。）

こういった用法は〝普通話〟の〝着〟と同じく，上の例文は〝普通話〟では〝跟着他去〟，〝看着我笑〟となる。

〝住〟の使える動詞は限られている。

8. 開

動詞のあとにつけて，〝緊〟と同じく動作が進行中であることを示す。

佢做開功課，你唔好叫佢喺。

（彼は勉強中なので，声をかけないで下さい。）

前晩你打電話嚟嗰陣，我食開飯。

（おとといの夜電話を頂いた時，私は食事をしていた。）

〝開〟は〝ずっと～している，していた〟という意味で使われることがある。

我用緊日立牌嘅洗衣機。

Hosei University Repository

（私は日立の洗濯機を使っている。）

我用開日立牌嘅洗衣機。

（私はずっと日立の洗濯機を使っている。）

9. 貢

一字の動詞の重ね方のあとに，"貢" をつけると，動作が進行中であることを示し，たいてい非難の意味が込められている。"普通話" にはない言い方である。

我寫緊字，你唔好郁郁貢。

（私は字を書いているので，ガタガタ動かないで。）

你隻脚末好翻晒，咪成日跳跳貢。

（足がまだ完全に治っていないのだから，しょっちゅう飛び回ったりしないで下さい。）

"貢" の使える動詞はそう多くなく，動詞の前に "唔好"，"咪" 等禁止を示す言葉が良く使われる。動詞は殆ど動作を示す動詞である。

10. 埋

動詞のあとにつけて，完了またはこれから完了することを示す。"普通話"にはない言い方である。

我做埋呢啲手尾就同你去。

（仕事の残りが終われば，君と一緒に行く。）

陳太洗埋啲碗先至嚟得。

（陳さんは皿洗いが終わって，始めて来ることができます。）

"埋" はまたあるものまで含むという意味で使われることもある。

佢食埋細佬嗰份。

（彼は弟の分まで食べた。）

呢間舖頭，米都賣埋。

（この店は米まで売っている。）

11. 親

動詞のあとにつけて，完了またはその動作によって良くない結果がもたらされたことを示す。たいてい感覚を示す動詞のあとにつけ，けがや不満を示すことが多い。使用できる動詞は限られており，"普通話" にはない言い方である。

好聲，唔好切親手。

Hosei University Repository

（手を切らないように気をつけて下さい。）

王小姐今朝俾汽車撞親。

（王さんはけさ自動車にぶつけられてけがをした。）

你唔好嚇親我。

（おどかさないで。）

"親" のもう一つ用法は動詞のあとにつけて，～するたびにという意味を示す言い方である。後にたいてい副詞の "就"，"都" がつく。

以前落親大雨，呢一帶就水浸。

（大雨が降れば，昔この辺りは水浸しになったものだ。）

我返親廣州都要使好多錢。

（私は広州に帰るたびに沢山のお金を使う。）

12. 下

一字動詞の重ね方のあとに，"下" をつけると，動作は短かったし，しかもあとで変化が起きたことを示す。"下" は ha^6 ではなく ha^2 と読む。"普通話" にはない言い方である。

我行行下就覺得好頸喝。

（私は歩いているうちにのどがとても乾いてきた。）

周生食食下飯就覺得唔舒服。

（周さんは食事をしているうちに気分が悪くなった。）

13. 時

一字動詞の重ね方の間に，"呀" をつけると，その動作が長い間続いたまたは度重ねたことを示す。"普通話" にはない言い方。

你哋睇呀睇，連飯都唔記得食。

（きみたちはテレビを見るのに夢中で，食事をすることさえ忘れてしまう。）

我用呀用，卒之用晒啲錢。

（私ははでにお金を使い，とうとう全部使ってしまいました。）

14. 晒

動詞のあとにつけて，すべて，全部という意味を示す。"普通話" にはない言い方である。

我屋企人瞓晒嘞。

（うちの人はみんな寝てしまった。）

Hosei University Repository

上個星期買嘅花生食晒末？

（先週買ったピーナッツは食べ終わったか？）

「動詞＋目的語」からなる二字の動詞の場合，"晒" は間に入れる。

你哋冲晒凉末呀？

（きみたちは全員お風呂に入ったか？）

我琴日就考晒試，今日去得玩嘞。

（試験はきのうで全部終わったので，今日遊びに行ける。）

形容詞のあとに "晒" を入れると，一種の強調となり，「すっかり～になった。」という意味を表わす，

考入大學之後，佢成個懶晒。

（大学に入学してから，彼はすっかり怠けてしまった。）

今年啲嘢貴晒。

（今年に入ってから物価がすっかり上がってしまった。）

"晒" はほかの助詞と一緒に使うこともでき，同じくすべて，全部という意味を表わす。

佢做埋晒啲乞人憎嘅嘢。

（彼は人に嫌われることばかりやっている。）

我全間屋都搵過晒，就係搵唔倒。

（私は家じゅうさがしたが，みつからなかった。）

広東語には名詞が動詞になることがあり，用法も普通の動詞と変わらない。

出去嗰陣要袋住啲錢呀。

（出かける時，お金をポケットに入れておきなさい。）

顧住咪電親。

（感電しないように気をつけて。）

"袋"，"電" はここではそれぞれポケットに入れる，感電するという意味で使われており，"普通話" にはない言い方である。

広東語の非動作動詞の重ね方のあとに，"哋" をつけると，意味が元の動詞よりも弱くなる。発音も最初の字は変調しないが，後の方は3～6声の時，2声に変調し，1，2声の場合は変調しない。

識識哋（いくらか知っている。）

似似哋（いくらか似ている。）

張生會講英文。

Hosei University Repository

（張さんは英語を話せる。）

張生會會吔講英文。

（張さんはいくらか英語を話せる。）

存在動詞"冇"（ない），"喺"（～にある）及び心理動詞の"稔"（考える）などは程度を弱めることができない為に，この形はとれない。

"普通話"の一字の非動作動詞には重ね方はなく，従ってこの形もない。

形容詞

広東語の形容詞はさまざまな重ね方及び前後に言葉を加えることによって，微妙なニュアンスの違いを出している。"普通話"の形容詞もいろいろな重ね方があるが，その数は広東語ほど多くなく，形もだいぶ異なる。以下広東語の一字二字の形容詞の重ね方を中心に形容詞の変化について検討する。

Ⅰ．一字形容詞

1. 一字形容詞（A）がAAの形で重ねる。この形の意味は一字の時と大きな差はなく，形容詞の前に"好"（很，とても）をつけた形に相当する。"普通話"の一字形容詞にもAAの形の重ね方があるが，その際，あとの字は第一声に変調し，しかもR化する。（例：好好ル）。それに対して，広東語のこの形の重ね方は二番目の字が変調せず，最初の字が2声に変調し，長くしかも強く読む。ややおどけた表現である。

快快（とても早い）

熱熱（とても熱い）

辣辣（とても辛い）

佢生得瘦瘦。

（彼はとても痩せている。）

阿爺間屋大大。

（お祖父さんのお家はとても大きい。）

嗰件白白嘅衫係邊個㗎？

（あの真白な服は誰のですか？）

2. 一字形容詞が重ねたあとに，"吔"をつける形。この形は元の形容詞よりも程度が弱くなったことを示す。最初の字は変調せず，二番目の字は2声に変調し，強くしかも長く読む，但しその形容詞が1声である場合，二番目の字は変調しない。

新新吔（やや新しい。1声，変調せず。）

Hosei University Repository

好好吔（きちんと。2声，変調せず。）
凍凍吔（やや寒い。3声，変調する。）
長長吔（やや長く。4声，変調する。）
冷冷吔（やや寒い。5声，変調する。）
大大吔（やや大きく。6声，変調する。）

飲咗些少酒，個面紅紅吔。
（いくらかお酒を飲んだので，顔が少し赤くなった。）
假假吔我都係你阿哥，你要聽我話。
（曲りなりにも私はきみの兄なのだから私の言うことを聞きなさい。）
呢把刀鈍鈍吔。
（このナイフは切れ味がやや良くない。）
"普通話" にはない形である。

3. 一字形容詞（A）が三つ重つ重ねた形。（AAA）形容詞の最上級を示す。一番目の字は2声に変調し，長く強く読み，あとの二字は変調しない。使用頻度は低く，おどけた表現で，"普通話" にはない言い方である。

靚靚靚（非常に美しい。）
貴貴貴（非常に値段が高い。）

家姐今日打扮得靚靚靚先至出去。
（姉はきょうとても美しくおめかししてから出かけた。）
我間屋舊舊舊，就嚟要拆嘞。
（私の家は非常に古く，もうすぐ取りこわされます。）

4. 一字形容詞のあとに，重ね方の言葉をつけると，物事の状態を生き生きと示すことができ，形容詞を強めた形になる。"普通話" にも同じ形があるが，同じことを言うのに，後の部分は殆ど違う。

広東語	普通話	
肥嘟嘟	胖乎乎	

（赤ん坊が）丸々と太っている。

新框框	新簇簇	真新しい
花碌碌	花斑斑	色が入り混じっている。
靜英英	靜悄悄	しんと静まりかえっている。

大拿拿幾萬文，佢都捨得買。
（彼は気前良く，大枚数万元をはたいてそれを買った。）

Hosei University Repository

宿舎靜英英，原來個個出哂街。

（寮はしんと静まりかえっている。というのも，みんなが出かけてしまったからだ。）

外面凍冰冰，你唔好出去嘞。

（外は身を切られるほどに寒い。あなたは出かけない方がいい。）

上に上げたのは〝普通話〟に同じ言いまわしのあるものだが，ないものもむろん沢山ある。

密質質（ぎっしり詰まっている。）

奚嫋嫋（ほっそりとやせている。）

一つの一字形容詞が違った重ね方を後につけることがあり，そうすることによって，ニュアンスが違ってくることが多い。

肥騰騰（肉が）あぶらばかり。

肥腯腯（子供が）丸々と太っている。

靜英英　シーンと静まりかえっている。

靜鷄鷄　こっそり，こそこそ。

白雪雪（雪のように）真っ白。

白蒙蒙　白くぼうっとかすんでいる。

この形には変調の字はない。

5.　重ね方を一字形容詞の前につけることがあり，同じく形容詞を強め，物事を如実に示す形である。

浸浸凉　　ひんやりと凉しい。

濕濕碎　　こまごました。

立立亂　　雑然と乱れている。

呢啲耶耶甜嘅餅乾，我唔中意食。

（これらのひどく甘ったるいビスケットは，私は好きではない。）

〝普通話〟にはない形である。

6.　重ね方が一字形容詞の前につけてもいいし，後につけてもかまわないものがあり，意味は全く同じだが，こういう形容詞はそう多くはない。声調の変化はない。

立立吟　　吟立立

（ピカピカと光っている。）

卜卜脹　　脹卜卜

Hosei University Repository

（はちきれんばかりに膨れている。）

崩崩臭　　臭崩崩

（ぷんぷん漂う悪臭。）

7.　一字形容詞を重ねて，後に名詞等，一字つける言い方があり，形容詞を強めた形で，声調の変化はなく，"普通話" にはない重ね方である。

急急脚　　（急ぎ足で。）

危危乎　　（きわめて危険だ。）

8.　一字形容詞のあとに，畳韻または双声の二字をつける。形容詞を強めた形で，声調の変化はなく，"普通話" にはない形である。

光劣脱　　（素っ裸。）

圓氾駝　　（まん丸い。）

尖筆甩　　（鋭くとがっている。）

鉛筆剡到尖筆甩。

（鋭くとがるほど鉛筆を削った。）

Ⅱ．二字の形容詞

1.　二字の形容詞（ＡＢ）をＡＡＢＢの形で重ねる。こういう形で重ねた場合，どの字も変調せず，形容詞を強めた意味になる。"普通話" にもこの形の重ね方があるが，但し第四文字は第一声に変調し，しかも強く読まねばならない。広東語においては，殆どすべての二字の形容詞がこの形を取ることができる。

企企理理　　（きちんとしている。）

實實鄭鄭　　（丈夫である。）

快快脆脆　　（素早く。）

姨丈做嘢幾時都穩穩陣陣。

（おじさんはいつ，何をやってもきわめて慎重だ。）

我細佬生得矮矮細細。

（私の弟は小柄だ。）

2.　二字の形容詞の間に "鬼" を入れると，強調を示す。この形の形容詞は殆ど不満不平を示すものであり，"普通話" にはない形である。

麻鬼煩　　（実にめんどうだ。）

論鬼盡　　（全くだらしない。）

冇鬼用　　（全く役に立たない。）

Hosei University Repository

Ⅲ. その他

1. 一字の名詞のあとに，一字の動詞または形容詞の重ね方をつけ，それによって「主語＋述語」形の形容詞ができる。重ねる字が違うと，意味も微妙に違ってきて，"普通話" にはない言い方である。

眼蒙蒙　（物がぼんやりと見えるさま。）
眼腫腫　（目がはれあがったさま。）
眼突突　（鋭く人をにらむさま。）
口窒窒　（どもるさま。）
口多多　（おしゃべりな。）
口花花　（婦人をからかうさま。）
心多多　（気が多い。）
心思思　（しきりにしたがる。）
心郁郁　（心が動く。）

2. 一字動詞のあとに 重ね方をつけ，形容詞を構成する。"普通話" にはない形である。

笑吟吟　（にこやかな。）
跳扎扎　（ぴんぴん跳ねる。）
死估估　（型にはまって融通がきかない。）

3. 名詞が形容詞に転化した場合があり，"普通話" にはない使用法である。

我嘅英文好水㗎。
（私の英語は実にへたくそだ。）
"水" がへたの意味に使われている。
呢個相機嘅化學㗎。
（このカメラはなんてちゃちなのだろう。）
"化学" はちゃちの意味に使われている。

昔の化学製品，特に日本製のものは壊れやすかったので，こういう意味に変わったものと思われる。

この形の形容詞として，ほかに木（間がぬけている），牛（乱暴な），塵（傲慢な），夜（夜遅く）などがある。

広東語の形容詞は比較級をつくる時，"普通話" とは違う形を取るが，別の機会に論じることにしたい。最後に本稿の作成に当って，昭和61年度法政大学特別研究助成金の交付を受けたことを附記しておく。

Hosei University Repository

参考文献

廣州方言研究　高華年著
方言与中国文化　周振鶴著
廣州話一普通話口語詞對譯手冊　曾子凡著
動詞用法詞典　上海辞書出版社
実用漢語語法　倪宝元著
漢語口語語法　趙元任著
廣州話方言詞典　商務印書館
現代漢語詞汇概要　武占坤著
A Practical Cantonese-English Dictionary By SIDNEY LAU
廣州音字汇　馮思禹編
廣東風情录　廣東人民出版社
Intermediate Cantonese By SIDNEY LAU
廣東風物志　花城出版社